

災害支援ネットワークNPOかけはし



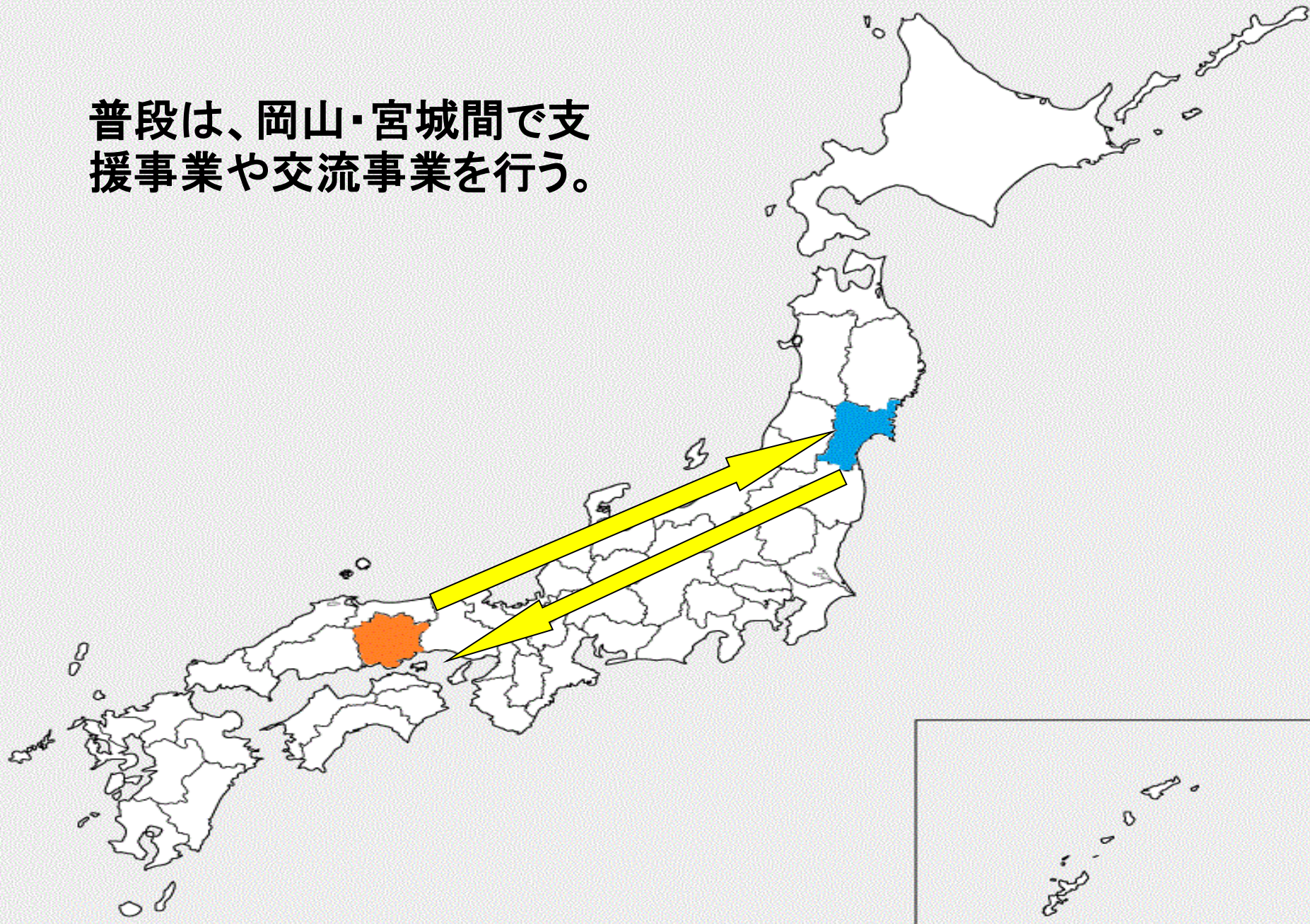
岡山県

「NPOかけはし」とは？

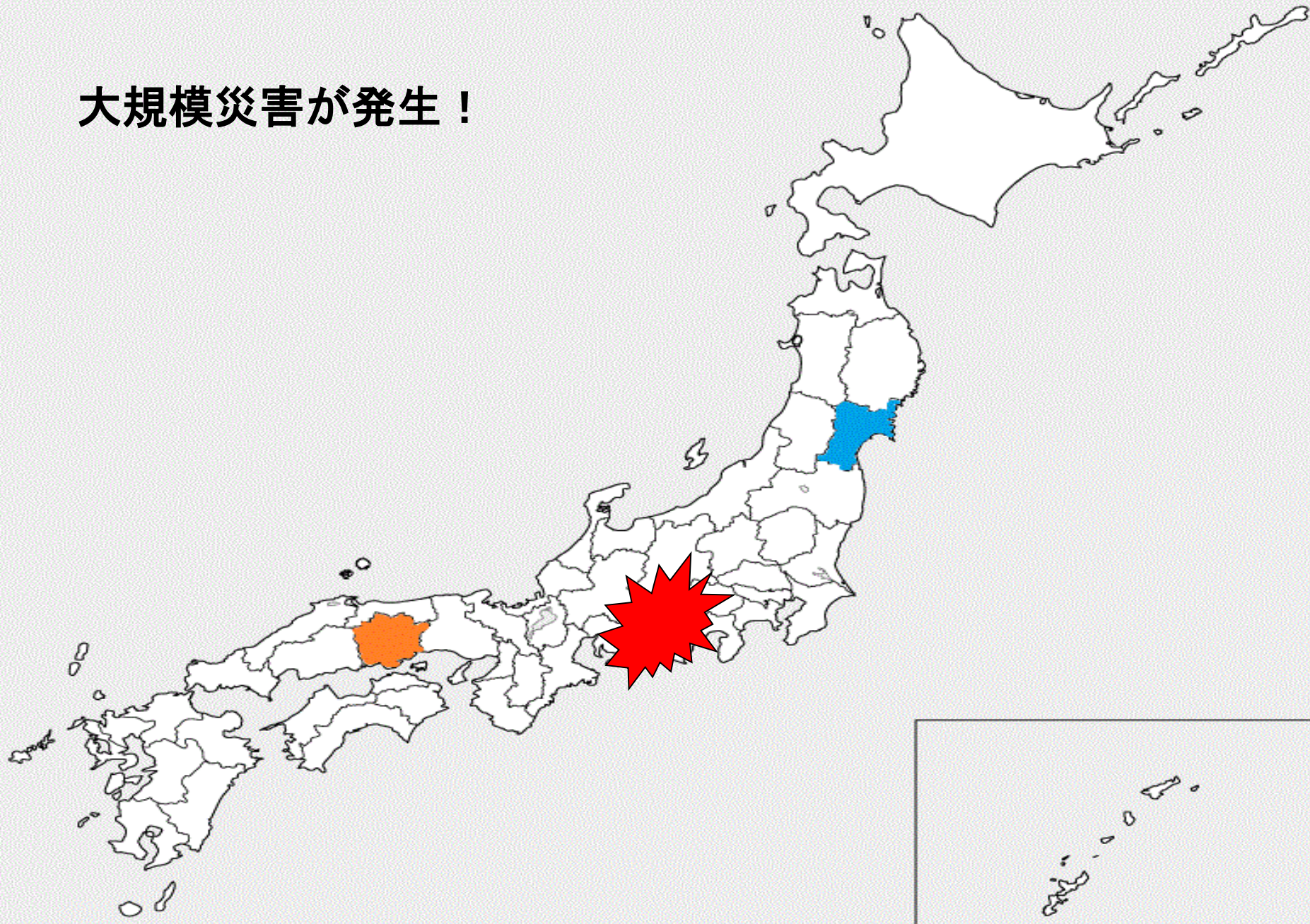
- いままでは個人個人で行ってきた災害支援ですが、必ず起こると言われている大規模災害に対し「一日も早く支援に入れる体制を整えよう。」という思いから、2012年9月に岡山県新見市を拠点として設立された〈任意団体〉です。

現在、正規会員は8名、学生会員5名

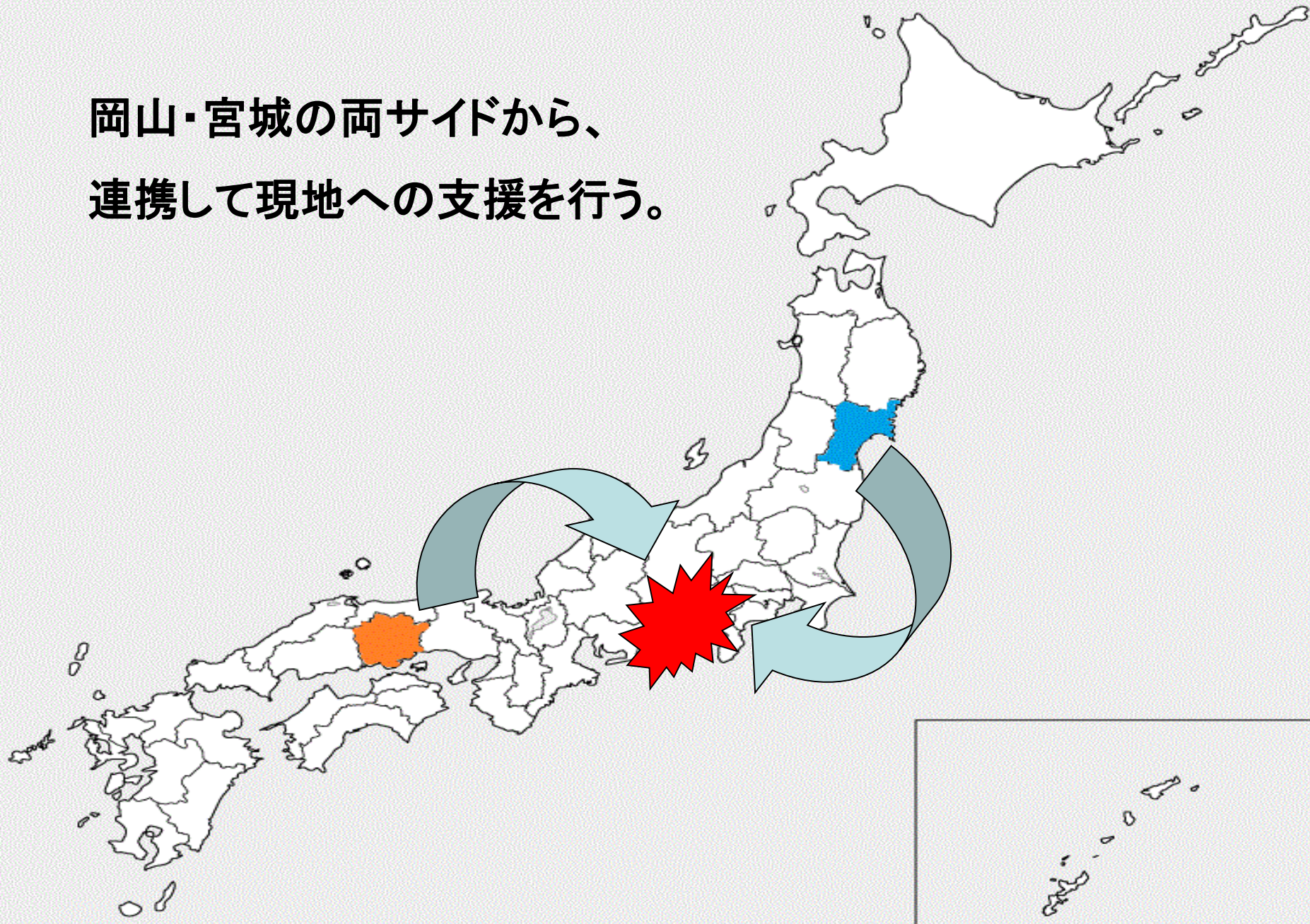
普段は、岡山・宮城間で支
援事業や交流事業を行う。



大規模災害が発生！



岡山・宮城の両サイドから、
連携して現地への支援を行う。



活動紹介

災害ボランティア



山口・島根豪雨 災害ボランティア

平成25年7月



東日本大震災

2011年3月

2011年3月11日14時46分に宮城県沖の海底を震源としたM9.0、最大震度7の大地震。

日本周辺では観測史上最大。

この地震により高さ20mにもなる巨大津波が沿岸部を襲った。

死者・行方不明者は18,564人(2013. 4現在)

第1回
宮城県支援活動

活動の概要

- 活動期間：平成23年3月30日～4月3日
- 活動場所：宮城県仙台市、塩竈市、石巻市、女川町
- 活動者：大森功資（新見市立高尾小学校非常勤講師）
植原淳幹（岡山大学教育学部4年生）

活動の目的

宮城県内の各避難所において避難生活を送っている子供たちを対象に、クレヨンや画用紙、折り紙、文具、衣服などの提供をし、お絵かき・音楽・遊び・話し相手などの活動を通して、ストレス軽減など心のケアにあたる。

皆様からお預かりした物資



新見市神郷地区の皆様より

現地での活動



仙台市の拓桃医療療育センター
院内コンサートに参加させて頂く。

現地での活動



石巻高等学校の避難所にて
「石巻こども避難所クラブ」の活動に参加させて頂く。

現地での活動



石巻高等学校の避難所にて
野球指導をする榎原くん

現地での活動



石巻高等学校の避難所にて
弾き歌いでコンサートをさせて頂く。

現地での活動



女川町総合体育館の避難所にて

第2回
宮城県支援活動

～ 再 会 ～

活動の概要

- 活動期間：平成24年3月27日～3月30日
- 活動場所：宮城県石巻市、女川町
- 活動者：大森功資（新見市立高尾小学校非常勤講師）
奥村由美（県立鳥取商業高等学校講師）

現地での活動



宮城県女川町



現地での活動



石巻高校トレーニング室避難所でキーボードに夢中だった、しゅんた君との再会。

現地での活動



子育て支援事業「いしのまき寺子屋」にて活動

現地での活動



大橋仮設住宅・向陽仮設住宅の集会スペースにて活動

第3回
宮城県支援活動

～ 支 縁 ～

現地での活動



いしのまき寺子屋 子育て支援事業

現地での活動



木の屋石巻水産 新工場



木村社長と共に

現地での活動



青い鯉のぼりプロジェクト



瓦礫再生太鼓と共に

現地での活動



壽屋酒店

その他の活動

防災講演やチャリティ・コンサート



ドキュメンタリー映画 「PRAY FOR JAPAN」



「PRAY FOR JAPAN」上映会

5月31日 岡山県新見市

会場: 御殿町センター

入場者数: 約50名

6月 1日 広島県福山市

会場: ホロコースト記念館

入場者数: 約40名

6月 2日 岡山県津山市

会場: 美作大学

入場者数: 約40名

6月 3日 鳥取県鳥取市

会場: 鳥取大学

入場者数: 約70名

会場: 県立人権ひろば

入場者数: 約15名

「PRAY FOR JAPAN」上映会



平成25年10月1日(火)

都道府県:愛媛県

会 場:松山大学

参加者数:400名

「PRAY FOR JAPAN」上映会



平成25年12月7日(土)

都道府県:鳥取県

会 場:大和地区公民館

参加者数:20名

「PRAY FOR JAPAN」上映会



平成25年12月7日(土)

都道府県:鳥取県

会場:用瀬町中央公民館

参加者数:30名

「PRAY FOR JAPAN」上映会



平成25年12月8日(日)

都道府県:岡山県


会 場:高尾公民館

参加者数:10名

「PRAY FOR JAPAN」上映会

今後の上映会予定

PRAY FOR JAPAN
チャリティー上映会



東日本大震災によって全てを失った人々が、極限状態の中で立ち上がり、犠牲を惜しまず勇気を見せてくれる姿が力強く描き出された感動の長編ドキュメンタリー映画。

制作チーム一部： 監督 スチュウ・リービー アニメ監督長濱博史
詩 和合亮一 朗読 鈴木京香 主題歌 奥田民生

文部科学省推薦 全編97分 入場無料

① 日時：平成26年2月21日(金) 17時開演
会場：ホープスターとっとり

② 日時：平成26年2月22日(土) 10時開演
会場：美穂地区公民館（鳥取市朝月22）

□2011年4月～9月、宮城県石巻市と東松島市を中心に撮影された映画。
・避難所（石巻市立湊小学校）
・学校（石巻市立雄雄中学校）
・家族（東松島市大曲浜）
・ボランティア（各団体&個人）
□門事務局長の報告があります。

主催：まちづくりNPO法人き宮城研究所 問い合わせ先：090-6837-5034(中川)

平成26年2月21日(金)

都道府県：鳥取県

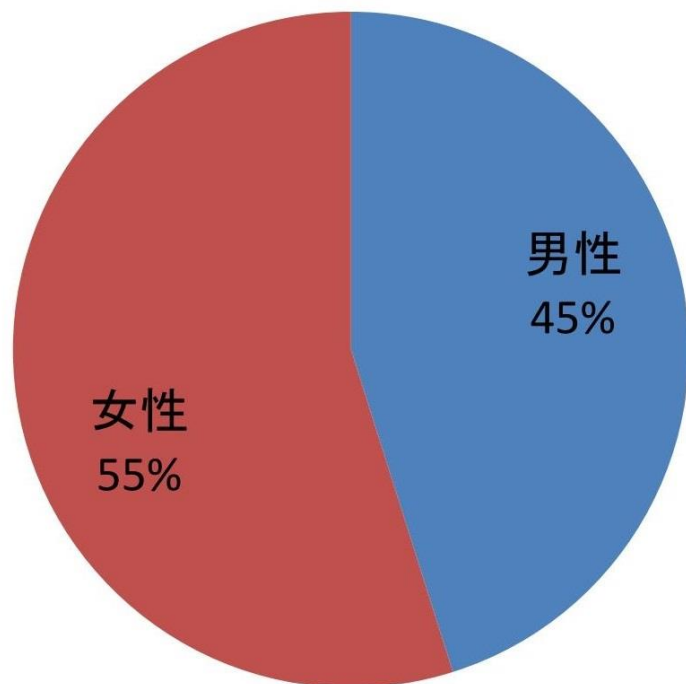
会場：ホープスターとっとり

平成26年2月22日(土)

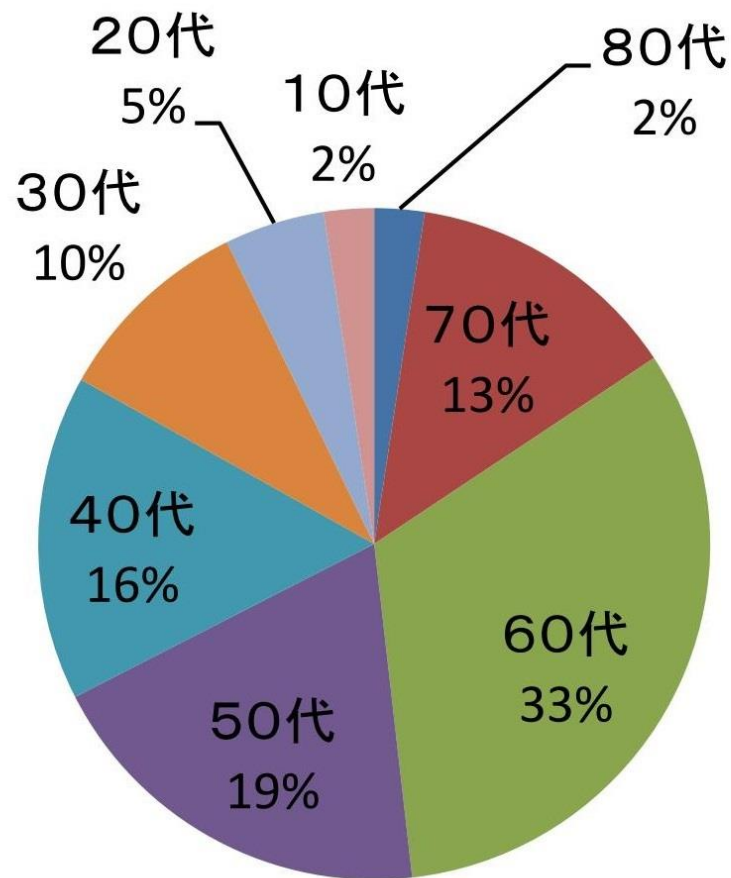
都道府県：鳥取県

会場：美穂地区公民館

視聴者アンケートより

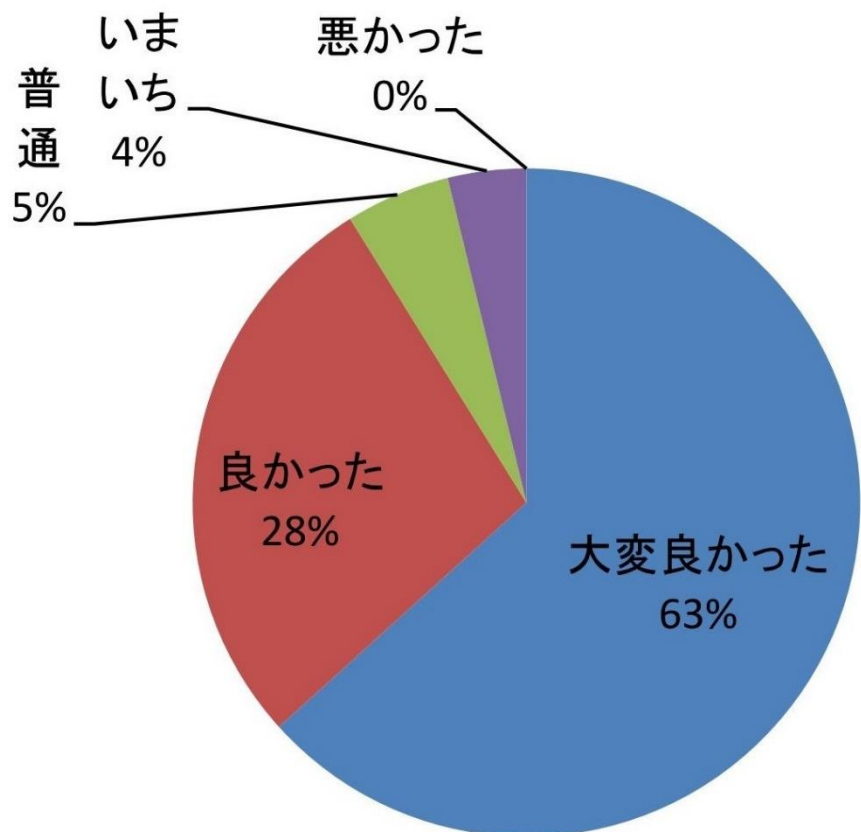


性別

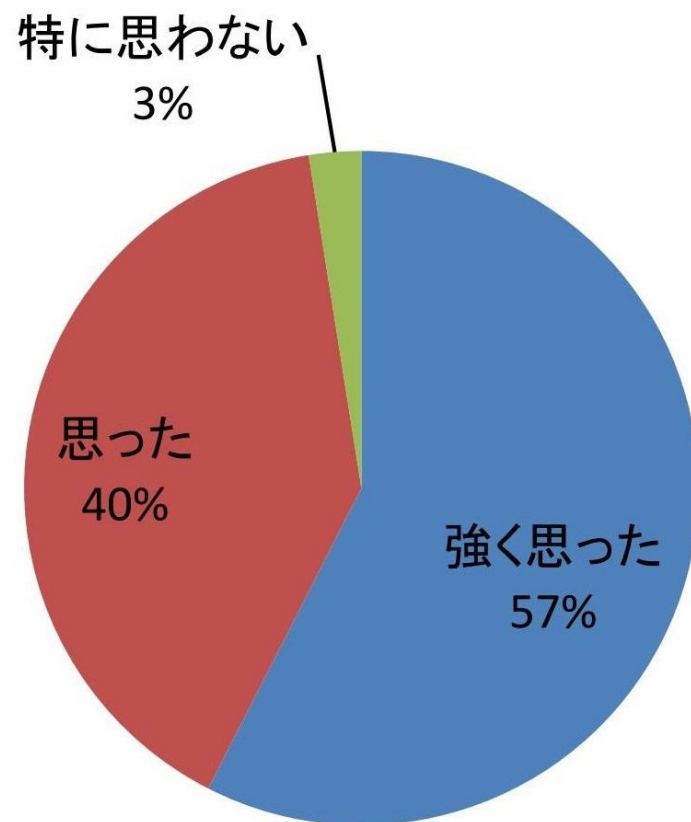


年代

視聴者アンケートより



感想



映画を見て、被災地の為に何かしたいと思いましたか

視聴者アンケートより

- 映画を見て、東北やボランティアの方々の様子を知ることができました。
- 私も東北へボランティアに行き、復興に協力したいと思いました。
- 映画を通して、改めて自分たちに何が出来るかをしっかり考えないといけないと感じました。

視聴者アンケートより

- 私たちにできることはとても小さなことだと思いますが、その積み重ねを大切にしたいです。
- 大学を卒業し、地元へ帰っても何か「支縁」ができたらと思います。
- 東北へいけない自分たちができることを、小さいことでもいいから何か一つでも始めたい。

事業を終えて

中国・四国地方では「遠い地域のこと」「もう普通の生活に戻っているだろう。」などと、震災への関心が薄くなっているのが現状です。

本助成事業による上映会の後には、復興地支援に興味を持ったり、実際に行動をおこしたりする方が多くみられ、非常に効果的であることがわかりました。

震災から間もなく3年が過ぎようとするいま、映画や復興者の体験談などは「震災の記憶の風化防止」に重要であり、今後も継続していく必要があると強く感じました。

ご静聴ありがとうございました

災害支援ネットワークNPOかけはし